

原子力施設の耐震安全性に係る新たな科学的・技術的知見の  
継続的な収集及び評価への反映等のための取組に基づく報告について（概要）

1. 検討内容

平成 21 年度における国の機関等の報告、学協会等の大会報告・論文、雑誌等の刊行物、海外情報等の公開情報を収集対象として、そのうち原子力施設の耐震安全性に関連する可能性のある情報を選定し、原子力施設への適用範囲・適用条件、耐震安全性評価への反映の要否等の観点から、検討・整理を行いました。

2. 検討結果

原子力事業者に共通する情報（以下、「共通情報」という。）及び、柏崎刈羽原子力発電所、福島第一原子力発電所、福島第二原子力発電所及び建設計画中の東通原子力発電所固有の情報（以下、「個別情報」という。）については、いずれも「反映が必要な新知見情報」はありませんでした。

「新知見関連情報」及び「参考情報」については、引き続き研究動向を注視していくことを考えており、耐震安全性に係る信頼性の一層の向上に向けた取り組みを継続的に行って参ります。

(1) 共通情報

分野	反映が必要な 新知見情報	新知見 関連情報	参考情報
活断層	0	0	3
地盤	0	0	1
地震・地震動	0	1	5
建物・構築物	0	0	7
機器・配管系	0	0	11
土木構造物	0	0	2
津波	0	0	5
合計	0	1	34

(2) 個別情報

発電所名	反映が必要な 新知見情報	新知見 関連情報	参考情報
柏崎刈羽原子力発電所	0	0	6
福島第一原子力発電所	0	0	1
福島第二原子力発電所	0	0	
東通原子力発電所建設 計画（申請中）	0	0	3

表示件数は、福島地点及び東通地点に係る情報 1 件を含む。

なお、上記情報以外で、当社がプレス発表等により原子力発電所の耐震安全性への影響を説明する必要が生じた情報はありませんでした。

以上